

資料編



1	最終評価の検討経過……………	75
2	ライフステージごとの健康づくり…	76
3	目標値一覧（領域別）……………	77
4	札幌市の取組状況（主な事業等）…	87

1 最終評価の検討経過

平成24年3月16日 ～3月31日	「健康さっぽろ21」の最終評価等に関する市民意識調査の実施 <ul style="list-style-type: none">・健康づくりに関する市民意識調査・思春期に関する市民意識調査・母子保健に関する市民意識調査 (4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児)
平成24年7月9日	平成24年度第1回札幌市健康づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none">・「健康さっぽろ21」の最終評価等に関する市民意識調査の結果報告
平成24年12月17日	平成24年度第3回札幌市健康づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none">・健康さっぽろ21【札幌市健康づくり基本計画】最終評価報告書(案)の審議

2 ライフステージごとの健康づくり

	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高年期 (65歳以上)
母子保健	かかりつけ小児科医をもつ		望まない妊娠や性感染症を防ぐ		女性の健康問題について相談や受診をする	
	新生児訪問指導を受ける	性や性感染症、薬物に関する正しい知識を学習する				
	乳幼児健診を受ける		妊娠中の喫煙・飲酒をしない 育児に関する悩みを相談する			
栄養・食生活	毎日朝食を食べる				骨粗しょう症予防のためカルシウムをとる	栄養バランスのとれた食事をとる
	栄養バランスのとれた食事をとる	食育について正しく学ぶ		栄養バランスのとれた食事をとる	脂肪や塩分を控え、栄養バランスのとれた食事をとる	
			無理なダイエットはしない		外食栄養表示の活用	
身体活動・冬季の健康づくり	外で元気に遊ぶ		運動習慣を定着させる			
	不慮の事故に気をつける			運動により体力の維持・増進をはかる		
	親子で体を使って遊ぶ					積極的に外出する 冬期の転倒・骨折を予防する
休養・心の健康づくり	早寝早起きなど規則正しい生活をする		十分な睡眠をとる・悩み事を誰かに相談する			
	親子のスキンシップを持つ	悩み事を誰かに相談する	疲労やストレスをためない			趣味や旅行など余暇を楽しむ
たばこ	受動喫煙を防ぐ					
	妊娠・子育て中の家族の喫煙を防ぐ	喫煙の害について正しく学ぶ				
		未成年の喫煙を防ぐ	喫煙を減らす			
アルコール	授乳中の母親の飲酒を防ぐ	未成年の飲酒を防ぐ	適度な飲酒を心がける			
		飲酒の害について正しく学ぶ				
			妊婦の飲酒を防ぐ			
歯の健康	フッ素塗布をする		歯科検診・歯周疾患検診を受診する			
	歯磨きを習慣化する			歯間部清掃用具を使用する		
	甘い飲み物をとり過ぎない					
糖尿病・循環器病・がん			体重管理を心がける			
				定期的な健康診断・がん検診を受ける		
健康危機管理	予防接種を受ける		感染症について正しく学ぶ			インフルエンザ予防接種を受ける
	手洗い・うがいを習慣づける		感染症などに不安のある人は早めに検査を受ける			

3 目標値一覧（領域別）

【評価】（数値目標のある指標） ◎：目標値を達成している、○：目標値に向かって推移している、△：変化なし、
▲：目標値から遠ざかっている、—：評価できない
（目標が「減らす」「増やす」などの傾向を示している指標）
◎：目標を達成している、○：目標に向かって推移している、△：変化なし、
▲：目標から遠ざかっている、—：評価できない

※全国の計画策定時の値、実績値、目標値は、「健康日本21最終評価報告書」「健やか親子21中間評価報告書」による。
注）*の実績値等は、策定時の値を把握した調査と実績値等を把握した調査が異なっている数値
**の実績値等は、食品成分表の改定にともなった重量変化率の換算が必要な数値

（1）母子保健

①思春期の心と身体の健康づくり

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国				
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標		
10代の自殺率 （人口10万対）	10～14歳	3.3	1.2	3.7	なくす	▲ ○	平成22年札幌市衛生年報	1.1	0.9	減少 傾向へ	
	15～19歳	9.2	5.2	6.9				6.4	7.6		
悩みを相談する人がいる	16～19歳	80.8%	84.9%	87.3%	増やす	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	—	—	—	
ふれあい体験学習実施校	1校	2校	—※	増やす	—	—	平成21年度で事業終了	—	—	—	
毎日朝食をとる小学生	—	83.3%	84.6%	100%	○	—	平成23年度札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査	—	—	—	
毎日朝食をとる中・高校生	79.5%	75.9%	76.5%	100%	▲	—	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	欠食率：6.0%	7.2%	0%	
未成年の喫煙を認めない	16～19歳	35.6%	49.4%	66.6%	100%	○	—	平成24年思春期に関する市民意識調査	—	—	—
未成年の喫煙率	15～19歳	15.8%	5.5%	1.7%	なくす	○	—	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	中学1年男子：7.5% 中学1年女子：3.8% 高校3年男子：36.9% 高校3年女子：15.6%	1.6% 0.9% 8.6% 3.8%	0%
未成年の飲酒を認めない	16～19歳	18.6%	23.3%	45.9%	100%	○	—	平成24年思春期に関する市民意識調査	—	—	—
未成年の飲酒率	15～19歳	38.9%	22.0%	8.3%	なくす	○	—	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	中学3年男子：26.0% 中学3年女子：16.9% 高校3年男子：53.1% 高校3年女子：36.1%	8.0% 9.1% 21.0% 18.5%	0%
10代の人工妊娠中絶率（人口千対）	24.0	15.2	11.4	なくす	○	—	平成22年札幌市衛生年報	12.1	10.5	減少 傾向へ	
避妊法を正確に知っている人	16～19歳	28.0%	42.2%	34.6%	100%	○	—	平成24年思春期に関する市民意識調査	18歳男子：26.2% 18歳女子：28.3%	17～19才 男子：12.5% 女子：22.7%	100%
保健センター主催の性教育	42回	124回	136回	増やす	○	—	平成23年度保健センター実績	—	—	—	
正しい性感染症の知識を持つ人	16～19歳	4.6%	6.0%	4.4%	100%	△	—	平成24年思春期に関する市民意識調査	性器クラミジア感染症 高校生男子：48.4% 高校生女子：55.8% 淋病感染症 高校生男子：19.9% 高校生女子：20.1%	48.4% 55.8% 19.9% 20.1%	100%
薬物乱用について学んだことがある人	16～19歳	91.7%	94.1%	91.1%	100%	△	—	平成24年思春期に関する市民意識調査	外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校・高校の割合 中学校： 警察職員 33.8% 麻薬取締官等 0.1% 高等学校： 警察職員 32.7% 麻薬取締官等 4.0%	—	100%

※平成21年度事業終了

指 標		計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
								計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
薬物への正しい知識を持つ人	16～19歳	22.3%	18.4%	11.5%	100%	▲	平成24年思春期に関する市民意識調査	急性中毒 依存症 中学3年 男子 62.3% 82.5% 女子 69.1% 90.6% 高校3年 男子 70.9% 87.1% 女子 73.0% 94.0%	—	100%
薬物乱用について肯定的な人	16～19歳	15.1%	5.7%	4.2%	なくす	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	—	—	—

②生涯を通じた女性の健康づくり

指 標		計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
								計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
妊娠11週以下の届出率		83.9%	83.5%	93.0%	100%	○	平成22年札幌市衛生年報	62.6%	66.2%	100%
人工妊娠中絶率 (人口千対)	20～24歳	41.6	35.7	24.3	半減	○	平成22年札幌市衛生年報	20.5	14.9	半減
	25～29歳	26.5	22.1	17.2				15.4	12.7	
	30～34歳	20.9	16.3	13.0				14.5	10.3	
妊婦の喫煙率		18.7%	13.0%	8.4%	なくす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	10.0%	3か月児 :7.3% 1歳6か月児:7.9% 3歳児 :8.3%	なくす
妊婦の受動喫煙に配慮する人		32.3%	35.8%	33.3%	100%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—
妊婦の飲酒率		40.5%	30.8%	17.1%	なくす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	18.1%	3か月児 :14.9% 1歳6か月児:16.6% 3歳児 :16.7%	なくす
電話による健康相談		18,990件	19,114件	21,415件	増やす	○	平成23年度保健センター実績	—	—	—
母親教室に参加の初妊婦		46.2%	53.2%	54.3%	増やす	○	平成23年度保健センター実績	—	—	—
妊産婦健康相談の利用者		1,272人	903人	409人	増やす	▲	平成23年度保健センター実績	—	—	—
母性健康相談の利用者		2,200人	2,746人	4,149人	増やす	○	平成23年度保健センター実績	—	—	—

③子どものすこやかな成長への支援

指 標		計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
								計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
ゆったりとした気分で育児をしている母親		88.9%	88.7%	90.6%	増やす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	68.0%	3か月児 :77.4% 1歳6か月児:69.0% 3歳児 :58.3%	増加傾向 ↑
子育てに心配ごと がある母親	4か月児の母親	45.5%	43.1%	48.3%	減らす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	子育てに自信が 持てない母親: 27.4%	3か月児 :19.0% 1歳6か月児:25.6% 3歳児 :29.9%	減少傾向 ↓
	10か月児の母親	53.9%	46.2%	51.8%						
	1歳6か月児の母親	64.4%	61.5%	64.0%						
	3歳児の母親	70.1%	70.2%	68.0%						
育児に参加する父親		94.8%	94.1%	94.7%	現状値 を維持	◎	平成24年母子保健に関する市民意識調査	82.8%	3か月児 :89.3% 1歳6か月児:85.8% 3歳児 :83.3%	増加傾向 ↑

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
父親の育児参加に満足する母親	17.5%	30.0%	27.0%	増やす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—	
子どもと遊ぶ父親	86.4%	86.1%	86.7%	増やす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	90.8%	3か月児 :94.2% 1歳6か月児:93.0% 3歳児 :90.2%	増加傾向 ↑	
育児期間に受動喫煙に配慮する人	39.1%	40.2%	34.0%	増やす	▲	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—	
かかりつけ小児科医がいる	86.0%	80.5%	93.2%	100%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	1~6歳児 81.7%	1才6か月児:86.3% 3歳児 :86.4%	100%	
かかりつけ歯科医 がいる	1歳6か月児	23.3%	25.0%	42.7%	100%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—
	3歳児	38.4%	47.0%	59.8%						
小児科の救急医療機関を知っている人	84.8%	82.6%	89.9%	100%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 87.8% 3歳児:89.9%	87.8% 89.9%	100%	
BCG接種を受けた1歳児	97.5%	99.2%	99.3%	現状値 を維持	◎	平成24年母子保健に関する市民意識調査	86.6%	92.3%	95%	
麻しん予防接種を受けた1歳児	—	85.1%	99.5%	95.0%	◎	平成23年度実績（委託 医療機関からの報告）	—	—	—	
麻しん予防接種を受けた就学前年の児	—	82.6%	92.4%	95.0%	○	平成23年度実績（委託 医療機関からの報告）	—	—	—	
不慮の事故の 死亡率 (人口10万対)	0歳	39.1	14.1	13.6	なくす	○	平成22年札幌市衛生年 報	18.2	13.4	半減
	1~4歳	1.6	5.0	1.7				▲	6.6	
うつ伏せ寝している乳児	8.1%	4.7%	5.4%	なくす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	3.5%	3か月児 :1.2% 1歳6か月児:3.3% 3歳児 :2.4%	なくす	
母乳のみを飲んだ1か月児	56.3%	60.9%	61.5%	増やす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	44.8%	—	増加傾向 ↑	
心肺蘇生法を知っている親	24.3%	27.3%	34.8%	100.0%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 19.8% 3歳児:21.3%	15.3% 16.2%	100%	
事故防止の工夫をしている家庭	19.4%	22.4%	29.1%	100.0%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 4.2% 3歳児:1.8%	4.5% 2.9%	100%	
新生児訪問指導実施率	—	63.5%	94.0%	増やす	○	平成22年度保健セン ター実施分	—	—	—	
虐待していると思うことがある親	10.2%	7.8%	5.8%	減らす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	18.1%	3か月児 :4.3% 1歳6か月児:11.5% 3歳児 :17.7%	減少傾向 ↓	
児童相談所の虐待受理件数	301件	310件	437件	減らす	▲	札幌市児童相談所平成 23年度統計	17,725件	33,408件	増加を経 て減少へ	

(2) 栄養・食生活

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
20歳代女性のやせ	23.1%	21.2%	20.2%	15%以下	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	23.3%	22.3%	15%以下	
30歳代男性の肥満	31.2%	24.8%	24.4%	20%以下	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	20～60歳代男性 24.3%	31.7%	16%以下	
脂肪エネルギー比率が適正な20～49歳	19.9%	30.2%	28.2%	40%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	—	—	
食塩摂取量が10g未満の成人男性※1	40.4%	43.1%	49.5%	50%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	—	—	
食塩摂取量が8g未満の成人女性※1		37.9%	44.2%	50%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	—	—	
成人の牛乳・乳製品摂取量	124g	105.5g	104.8g	150g以上	▲	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	107g	91**	130g以上	
成人の野菜摂取量 (緑黄色野菜の摂取量)	263g (77g)	254g (89g)	293g (96g)	350g以上 (120g以上)	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査 平成23年札幌市健康・ 栄養調査	292g (98g)	295** (99g)**	350g以上 (120g以上)	
成人の果物摂取量	83.1g	102g	118g	150g以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	(北海道) 138g※2	(北海道) 190.8g※2	(北海道) 150g以上※2	
毎日朝食をとる人	小学生	—	83.3%	84.6%	100%	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	欠食率 中・高校生 7.2% 20歳代男性 33.0% 30歳代男性 29.2%	7.2% 33.0% 29.2%	中・高校生 0% 20～39歳男性 15%以下
	中・高校生	79.5%	75.9%	76.5%	100%	▲				
	20歳代男性	49.8%	51.1%	39.5%	70%以上	▲				
	20歳代女性	59.3%	64.8%	69.0%		○				
	30歳代男性	52.9%	53.1%	68.3%		○				
食生活に改善意欲がある人	71.1%	73.7%	75.0%	80%以上	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	成人男性 58.8% 成人女性 69.5%	58.8% 69.5%	80%以上	
病気と食事の関係をよく知っている人	32.2%	36.7%	39.1%	80%以上	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	—	—	—	
栄養成分表示をしている店舗数	307ヵ所	1,021ヵ所	1,563ヵ所	3,000ヵ所	○	平成24年3月現在	—	—	—	
外食料理栄養成分表示などを参考に する人	46.8%※3	35.9%	37.1%	80%以上	▲	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	外食や食品購入時 男性 (20～69歳) 20.1% 女性 (20～69歳) 41.0%	25.0% 55.3%	30%以上 55%以上	
メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)を知っている人	—	55.6%	78.3%	80%以上	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	—	92.7%	80%以上	
食事バランスガイドなどを活用する人	—	52.0%	45.4%	60%以上	▲	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	—	—	—	

※1：計画策定時の指標は「食塩摂取量が10g未満の成人」であったが、中間評価時において、「日本人の食事摂取基準（2005年版）」では成人女性の食塩摂取量が10g未満から8g未満となったため、「食塩摂取量が10g未満の成人男性」と「食塩摂取量が8g未満の成人女性」と変更した。

※2：「北海道健康増進計画『すこやか北海道2-1改訂版』」による北海道の数値

※3：計画策定時の数値は「平成12年市政世論調査」

(3) 身体活動・冬季の健康づくり

①身体活動・運動

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
意識的に運動している人 (15歳以上)	男性	48.2%	50.5%	48.7%	58%以上	△	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	成人男性 51.8%	58.7%	63%以上
	女性	42.3%	48.8%	47.7%	52%以上			○	成人女性 53.1%	
運動習慣のある成人	男性	21.5%	26.6%	28.1%	32%以上	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	28.6%	32.2%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%	28.4%		○		24.6%	27.0%	35%以上
1日あたりの歩数(15歳以上)	男性	7,654歩	7,282歩	7,894歩	8,700歩以上	○	平成23年国民健康・栄養調査札幌市分	成人男性 8,202歩	7,243歩	9,200歩以上
	女性	7,238歩	6,908歩	6,472歩	8,200歩以上	▲		成人女性 7,828歩	6,431歩	8,300歩以上
70歳以上の1日あたりの歩数	男性	6,091歩	4,943歩	4,634歩	7,100歩以上	▲	平成23年国民健康・栄養調査札幌市分	5,436歩	4,707歩	6,700歩以上
	女性	5,092歩	5,005歩	4,799歩	6,100歩以上	▲		4,604歩	3,797歩	5,900歩以上
外出に積極的な60歳以上の人	男性	57.0%	66.7%	62.1%	67%以上	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	59.8%	74.7%	70%以上
	女性	65.4%	65.7%	71.0%	75%以上	○		59.0%	71.4%	
地域活動等に参加している60歳以上の人	男性	37.4%	36.9%	37.9%	47%以上	△	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	48.3%	64.0%	58%以上
	女性	42.2%	46.7%	42.3%	52%以上	△		39.7%	55.1%	50%以上

②冬季の健康づくり

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
冬期間に意識的に運動している人	男性	—	45.6% (53.3%)※	44.0% (47.2%)※	増やす	▲	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	—	—	—
	女性	—	44.8% (49.4%)※	45.5% (47.5%)※						
運動習慣のある成人	男性	21.5%	26.6%	28.1%	32%以上	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	28.6%	32.2%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%	28.4%		○		24.6%	27.0%	35%以上
インフルエンザの予防接種を受けた65歳以上の人	29.5%	51.1%	49.6%	増やす	○	平成23年度実績	—	—	—	
成人の野菜摂取量 (緑黄色野菜の摂取量)	263g	254g	293g	350g以上	○	平成23年札幌市健康・栄養調査	292g	295g	350g以上	
	(77g)	(89g)	(96g)	(120g以上)	○		(98g)	(99g)	(120g以上)	
睡眠により疲労がとれない成人	26.3%	27.4%	23.3%	24%以下	◎	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	23.1%	18.4%	21%以下	

※アンケートの設問で「除雪」のみを選択した場合を含めて集計した数値

(4) 休養・こころの健康づくり

①休養

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
睡眠により疲労がとれない成人	26.3%	27.4%	23.3%	24%以下	◎	平成24年健康づくりに関する市民意識調査		18.40%		
1日あたりの余暇活動時間 (15歳以上)	6時間23分	6時間50分	7時間5分※1	増やす	○	平成18年社会生活基本調査	(北海道) 5時間10分※2	5時間31分※2	(北海道) 5時間31分以上※2	
外出に積極的な60歳以上の人	男性	57.0%	66.7%	62.1%	67%以上	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	59.8%	74.7%	70%以上
	女性	65.4%	65.7%	71.0%	75%以上	○		59.0%	71.4%	
地域活動等に参加している60歳以上の人	男性	37.4%	36.9%	37.9%	47%以上	△	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	48.3%	64.0%	58%以上
	女性	42.2%	46.7%	42.3%	52%以上	△		39.7%	55.1%	50%以上

※1：札幌大都市圏の数値

※2：「北海道健康増進計画『すこやか北海道2 1改訂版』による北海道の数値

②こころの健康づくり

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
悩みを相談する人がいる（16～19歳）	80.8%	84.9%	87.3%	増やす	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	—	—	—
ストレスを感じている成人	73.6%	73.2%	69.0%	66%以下	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	54.6%	61.3%	49%以下
自殺率（人口10万対）	26.1	25.2	22.6	減らす	○	平成22年札幌市衛生年報	25.2※1	23.4	20%減※2

※1：警察庁「平成18中における自殺の概要資料」による。

※2：平成19年度版「自殺対策白書」による（平成28年までの10年間で、基準年（平成17年）の自殺死亡率を20%以上減少させる目標を掲げている）。

(5) たばこ

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
未成年の喫煙率（15～19歳）	15.8%	5.5%	1.7%	なくす	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	中学1年男子：7.5% 中学1年女子：3.8% 高校3年男子：36.9% 高校3年女子：15.6%	1.6% 0.9% 8.6% 3.8%	0%	
妊婦の喫煙率	18.7%	13.0%	8.4%	なくす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	10.0%	3か月児：7.3% 1歳6か月児：7.9% 3歳児：8.3%	なくす	
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	30.6%	減らす	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	43.3%	38.2%	—
	女性	25.4%	19.5%	13.1%				12.0%	10.9%	—
禁煙・完全分煙対策に取り組む施設（ここから健康づくり応援団登録数）	—	198カ所	465カ所	増やす	○	平成23年度末「ここから健康づくり応援団」登録数	—	—	—	
妊婦の受動喫煙に配慮する人	32.3%	35.8%	33.3%	100%	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—	
育児期間に受動喫煙に配慮する人	39.1%	40.2%	34.0%	増やす	▲	平成24年母子保健に関する市民意識調査	—	—	—	
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持つ未成年者（16～19歳）	肺がん	99.1%	98.2%	96.6%	100%	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	15歳以上 肺がん 84.5% 気管支炎 65.5% 喘息 59.9% 心臓病 40.5% 歯周病 27.3% 妊娠に関連した異常 79.6%	肺がん 87.5% 気管支炎 65.1% 喘息 62.8% 心臓病 50.7% 歯周病 40.4% 妊娠に関連した異常 83.5%	100%
	気管支炎	56.0%	52.0%	57.9%						
	喘息	40.6%	43.5%	53.3%						
	心臓病	19.1%	27.8%	31.2%						
	歯周病	30.7%	41.1%	51.5%						
	妊娠に関連した異常	77.3%	77.0%	68.9%						
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持つ人（15歳以上）	肺がん	87.1%	95.2%	95.2%	100%	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	15歳以上 肺がん 84.5% 気管支炎 65.5% 喘息 59.9% 心臓病 40.5% 歯周病 27.3% 妊娠に関連した異常 79.6%	肺がん 87.5% 気管支炎 65.1% 喘息 62.8% 心臓病 50.7% 歯周病 40.4% 妊娠に関連した異常 83.5%	100%
	気管支炎	57.4%	61.0%	61.9%						
	喘息	51.0%	58.6%	62.2%						
	心臓病	41.8%	50.9%	51.1%						
	歯周病	18.6%	27.9%	29.3%						
	妊娠に関連した異常	62.6%	62.5%	59.3%						

(6) アルコール

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
成人の多量飲酒者	男性	7.9%	5.6%	4.1%	減らす	○ 平成24年健康づくりに関する市民意識調査	4.1%	4.8%	3.2% 以下
	女性	2.1%	1.9%	1.2%			0.3%	0.4%	0.2% 以下
未成年の飲酒率（15～19歳）	38.9%	22.0%	8.3%	なくす	○	平成24年思春期に関する市民意識調査	中学3年男子:26.0% 中学3年女子:16.9% 高校3年男子:53.1% 高校3年女子:36.1%	8.0% 9.1% 21.0% 18.5%	0%
妊婦の飲酒率	40.5%	30.8%	17.1%	なくす	○	平成24年母子保健に関する市民意識調査	18.1%	3か月児 :14.9% 1歳6か月児:16.6% 3歳児 :16.7%	なくす

(7) 歯の健康

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
むし歯になるおそれがある1歳6か月児	28.8%	29.7%	33.2%	20%以下	▲	平成22年札幌市衛生年報	—	19.5%	—
むし歯のない3歳児	70.3%	75.8%	79.8%	80%以上	○	平成22年札幌市衛生年報	59.5%	77.1%	80%以上
フッ素塗布を受けた3歳児	51.9%	66.3%	71.3%	65%以上	◎	平成24年母子保健に関する市民意識調査	39.6%	64.6%	50%以上
12歳児のむし歯の数	3.4本	1.9本	1.5本	1本以下	○	平成22年度学校保健統計調査	2.9本	1.3本	1本以下
24本以上の歯を保持する50歳	78.9%	81.8%	79.5%	増やす	○	平成23年度歯周疾患検診	60歳（55～64歳） 44.1%	56.2%	50%以上
歯間部清掃用具を使用する人	40歳代	36.9%	39.8%	47.7%	65%以上	○ 平成24年健康づくりに関する市民意識調査	40歳（35～44歳） 19.3%	44.6%	50%以上
	50歳代	31.3%	39.4%	44.4%	60%以上		50歳（45～54歳） 17.8%	45.7%	
過去1年間に歯科健診を受けた成人	46.2%	47.6%	50.8%	52%以上	○	平成24年健康づくりに関する市民意識調査	60歳（55～64歳） 16.4%	36.8%	30%以上
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	30.6%	減らす	○ 平成24年健康づくりに関する市民意識調査	43.3%	38.2%	—
	女性	25.4%	19.5%	13.1%			12.0%	10.9%	

(8) 糖尿病・循環器病・がん

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国			
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標	
成人の肥満	男性 (20～60歳代)	26.4%	25.3%	25.3%	15%以下	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	(20～60歳代) 24.3%	31.7%	15%以下
	女性 (40～60歳代)	16.7%	19.1%	16.3%	減らす	○		(40～60歳代) 25.2%	21.8%	20%以下
脂肪エネルギー比率が適正な20～49歳		19.9%	30.2%	28.2%	40%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	27.1%	—
1日あたりの歩数 (15歳以上)	男性	7,654歩	7,282歩	7,894歩	8,700歩以上	○	平成23年国民健康・栄 養調査札幌市分	成人男性 8,202歩	7,243歩	9,200歩以上
	女性	7,238歩	6,908歩	6,472歩	8,200歩以上	▲		成人女性 7,282歩	6,431歩	8,300歩以上
運動習慣のある成人	男性	21.5%	26.6%	28.1%	32%以上	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	28.6%	32.2%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%	28.4%	32%以上	○		24.6%	27.0%	35%以上
成人の野菜摂取量 (緑黄色野菜の摂取量)		263g	254g	293g	350g以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	292g	295g	350g以上
		(77g)	(89g)	(96g)	(120g以上)	○		(98g)	(99g)	(120g以上)
成人の果物摂取量		83.1g	102g	118g	150g以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	125.3g	105.6g	—
食塩摂取量が10g未満の成人男性※1		40.4%	43.1%	49.5%	50%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	—	—
食塩摂取量が8g未満の成人女性※1			37.9%	44.2%	50%以上	○	平成23年札幌市健康・ 栄養調査	—	—	—
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	30.6%	減らす	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	43.3%	38.2%	—
	女性	25.4%	19.5%	13.1%		○		12.0%	10.9%	—
成人の多量飲酒者	男性	7.9%	5.6%	4.1%	減らす	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	4.1%	4.8%	3.2以下
	女性	2.1%	1.9%	1.2%		○		0.3%	0.4%	0.2%以下
特定健康診査の実施率※2		—	16.0%	18.2%	65%	○	平成22年度法定報告	—	40.5%	70%
特定保健指導の実施率※2		—	5.9%	9.1%	45%	○	平成22年度法定報告	—	13.0%	45%
メタボリックシンドロームの該当者・ 予備群の減少率※2		—	28.3%	25.7%	10%の減少	○	平成22年度法定報告	—	受診者のうち 男性:38% 女性:13%	該当者・予備群 男性(40～74歳) 10%以上の減少 女性(40～74歳) 10%以上の減少
メタボリックシンドローム(内臓脂肪 症候群)を知っている人		—	55.6%	78.3%	80%以上	○	平成24年健康づくりに 関する市民意識調査	—	92.7%	80%以上
がん検診の受診率※3	肺がん	4.7%	3.8%	2.8%	各検診とも 50%	▲	平成23年度実績	—	男性:24.9% 女性:21.2%	—
	胃がん	10.9%	11.1%	7.9%		▲		—	男性:34.3% 女性:26.3%	—
	大腸がん	12.4%	15.1%	14.3%		○		—	男性:27.4% 女性:22.6%	—
	乳がん	13.1%	17.3%	26.4%		○		—	31.4%	—
	子宮がん	21.4%	30.6%	35.8%		○		—	32.0%	—
がんの標準化死亡率 (SMR)	肺がん 男性	100.6	109.5	110.2	各疾患とも 減らす	▲	平成23年6月 北海道健康づくり財団 (対象期間:平成12年 ～平成21年)	—	—	—
	肺がん 女性	119.3	113.6	123.1		▲		—	—	—
	大腸がん 男性	110.6	117.0	109.4		○		—	—	—
	大腸がん 女性	105.4	112.8	108.0		▲		—	—	—
	乳がん	113.9	104.6	120.1		▲		—	—	—

※1:計画策定時の指標は「食塩摂取量が10g未満の成人」であったが、中間評価時において、「日本人の食事摂取基準(2005年版)」では成人女性の食塩摂取量が10g未満から8g未満となったため、「食塩摂取量が10g未満の成人男性」と「食塩摂取量が8g未満の成人女性」と変更した。

※2:札幌市国民健康保険

※3:がん検診の対象者推計数については、平成22年度より国の基準値としているため、単純比較はできない。

(9) 健康危機管理

指 標	計 画 策 定 時 の 値	中 間 評 価 時 の 値	実 績 値	目 標	評 価	実 績 値 出 典	全 国		
							計 画 策 定 時 の 値	実 績 値	目 標
麻しん予防接種を受けた1歳児	-	85.1%	99.5%	95.0%	◎	平成23年度実績（委託医療機関からの報告）	-	85.4%	-
麻しん予防接種を受けた就学前年の児	-	82.6%	92.4%	95.0%	○	平成23年度実績（委託医療機関からの報告）	-	-	-
インフルエンザの予防接種を受けた65歳以上の人	29.5%	51.1%	49.6%	増やす	○	平成23年度実績	-	-	-
札幌市食品衛生管理認定制度の認定施設数	0カ所	22カ所	53カ所	増やす	○	平成24年5月1日現在	-	-	-
HIV感染者届出数のうち、発病してからの届出数	-	27.0%	37.5%	減らす	▲	平成23年実績	-	-	-

4 札幌市の取組状況（主な事業等）

★は中間評価時以降の事業、☆は内容を変更した事業を示す。

（1）母子保健

①思春期の心と身体の健康づくり

事業名	概要と実績					
思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として性（生命）や性感染症等に関する健康教育を行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	実施回数	107回	108回	104回	102回	127回
	参加人数	14,125人	13,733人	13,868人	11,382人	15,897人
若者の性の健康相談	10～20歳代の方を対象に、性や性感染症・避妊等の悩みについて各区保健センターで相談を行っています。 性感染症や避妊に関するパンフレットを市内の医療機関に送付し、指導や相談に活用するよう啓発しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	医療機関相談件数	6,242回	5,780回	6,108回	6,457回	8,325回
	保健センター相談件数	95人	100人	59人	186人	140人
少年育成指導員による巡回・相談	思春期の子ども様々な課題に対処するために、電話・面談による相談や街頭における巡回指導などを行っています。					
★ 子どもの権利救済機関 （子どもアシストセンター）	いじめや虐待などの子どもに関する相談に幅広く応じるとともに、権利侵害からの救済の申し立て等に基づき、公的第三者の立場で、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行います。 ※平成21年4月1日「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例（子どもの権利条例）」の施行と同時に設置されました。（前身は平成20年度まで設置されていた旧子どもアシストセンター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	相談件数（実件数）	—	—	1,278件	1,171件	1,191件
	相談件数（のべ）	—	—	3,571件	3,788件	4,186件

②生涯を通した女性の健康づくり

事業名	概要と実績					
☆ 妊婦一般健康診査	妊婦を対象として、「より安全で安心な出産」を迎えるために、公費負担により、14回の健康診査を実施しています。（平成19年10月から1回から5回に拡充し、平成21年4月から14回に拡充）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	受診延べ人数	41,253人	68,728人	170,197人	170,361人	170,522人
★ 妊婦甲状腺機能検査	妊婦を対象として、甲状腺機能異常の早期発見、早期治療を図るため、血液によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	検査人数	9,825人	9,617人	10,064人	9,621人	9,443人
母子健康手帳の交付	妊娠届出書を提出した妊婦に対して、各区保健センターで交付しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	15,342人	14,797人	15,658人	15,284人	15,185人

事業名	概要と実績					
母親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	462回	464回	449回	463回	461回
参加延人数	10,321人	10,349人	8,388人	9,020人	8,611人	
両親教室・父親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関し、主に父親の役割を中心に保健指導を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	40回	39回	37回	39回	39回
参加延人数	2,685人	2,645人	2,441人	2,739人	2,655人	
ワーキング・マタニティスクール	働きながら出産・育児をする初妊婦およびその配偶者を対象として、働きながら妊娠、出産、育児等をするために必要な保健指導等を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	10回	10回	10回	6回	6回
参加人数	436人	429人	329人	308人	364人	
思春期・婚前健康教育等	家族計画、母性保護等について正しい知識の普及指導をしています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	42回	42回	32回	16回	9回
参加人数	3,977人	4,181人	3,240人	1,805人	493人	
妊産婦・母性健康相談	妊娠中や産後の健康状態、母乳育児等に関する相談を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	923回	925回	888回	886回	884回
参加人数	4,763人	4,909人	5,040人	5,023人	4,603人	
離乳期講習会	乳児の母親を対象として、離乳に関する保健指導を実施しています。（各区保健センター） ※開催実績は育児教室に計上					
育児教室	乳幼児と母親を対象に、子どもの発育、発達に応じた育児の保健指導や情報交換を行っています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	491回	528回	488回	515回	490回
参加人数	16,401人	12,985人	11,662人	14,039人	14,290人	
女性の健康相談	思春期から更年期の女性に起こりやすい健康問題に対する相談・保健指導を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	192回	160回	130回	125回	139回
参加人数	941人	779人	501人	504人	434人	
女性のフレッシュ健診	健康診査の機会に恵まれない18歳から39歳までの家庭の主婦、自営業の女性を対象とし、札幌市中央健康づくりセンターで健康診査を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	受診者数	1,178人	1,142人	1,287人	1,263人	1,255人
遺伝相談	保健所において、専門医による心身障害や先天性異常の遺伝的要素等についての相談を実施しました。（平成22年度から廃止）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	実施回数	24回	24回	24回	—	—
参加人数	9人	2人	4人	—	—	
マタニティマークストラップの配布	妊娠初期は、妊婦であることが分かりにくく、周囲の理解が得られにくいため、平成18年6月から保健センターでの母子手帳交付時にマタニティマークストラップを配付するほか、公共施設や地下鉄車内にポスターを掲示して、マークを目にした方が妊婦の健康に配慮できるよう普及啓発を行っています。					

事業名	概要と実績					
不妊専門相談	不妊に悩む市民に対し、専門医およびカウンセラーが相談を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	実施回数	39回	35回	26回	33回	26回
	相談者数	70人	69人	46人	54人	33人
★ 妊婦支援相談事業	妊娠届出書の提出時に面接相談を実施し、ハイリスク妊婦に対して、家庭訪問等による継続支援を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	面接相談数	—	—	—	—	15,157回
	継続支援実施数	—	—	—	—	783人
札幌市産婦人科救急電話 相談	夜間の急な産婦人科系疾患について、助産師等が相談を受け付け、必要に応じ、医療機関への搬送調整を行っている。毎日午後7時～翌日午前7時					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	電話相談件数	—	971件	2,036件	1,989件	1,723件

③子どものすこやかな成長への支援

事業名	概要と実績					
先天性代謝異常等検査	新生児を対象として、先天性代謝異常等の早期発見、早期治療を図るため出生した市内の医療機関で採血し、市衛生研究所で検査を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	検査人数	16,507人	16,831人	16,731人	16,640人	16,453人
神経芽細胞腫スクリー ニング検査	1歳6か月児を対象として、神経芽細胞腫の早期発見、早期治療を図るため尿によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	検査人数	10,311人	10,775人	10,779人	10,795人	11,013人
胆道閉鎖症検査	1か月児を対象として、胆道閉鎖症の早期発見、早期治療を図るため、便色調によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	検査人数	14,532人	14,338人	14,204人	14,342人	13,924人
4か月児健康診査	4か月児を対象として、健全育成と異常の早期発見を図るため健康診査と保健指導を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	14,483人	14,725人	14,400人	14,819人	14,611人
1歳6か月児健康診査	乳児から幼児への移行期にあたり、身体・精神および行動発達状況をチェックするとともに、育児指導、歯科健診を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	13,811人	13,652人	14,046人	14,002人	14,320人
3歳児健康診査	幼児期における身体および精神の発達状況をチェックするとともに歯科健診、保健指導を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	13,167人	12,986人	13,250人	13,534人	13,879人
乳幼児健康診査	健全育成を図るため、10か月児および経過観察を要する乳幼児に対し、健康診査と保健指導を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	14,764人	14,680人	14,894人	15,142人	15,434人
乳児・1歳6か月児・ 3歳児精密健康診査	健康診査の結果、精密健診を要する乳児・1歳6か月児および3歳児に対し、市内の医療機関に委託し、実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	人数	2,548人	2,427人	2,515人	2,504人	2,527人

事業名	概要と実績					
母子保健訪問指導	妊産婦、未熟児、新生児等を対象として、各区保健センター職員及び母子保健訪問指導員により家庭訪問を行い、必要な保健指導を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	妊産婦	12,945人	14,123人	14,104人	14,505人	14,807人
	新生児	11,764人	12,828人	12,991人	13,227人	13,463人
	未熟児	1,179人	1,299人	1,197人	1,319人	1,265人
乳幼児精神発達相談	言語・情緒発達に心配のある乳幼児とその親に対し、子どもの発育・発達を促すとともに、良好な親子関係の構築と育児不安の軽減を図るため、各区保健センターにおいて個別の発達相談を行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	延べ件数	1,826件	1,945件	1,798件	2,131件	2,067件
保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業 (育児支援家庭訪問事業)	市内の医療機関において、「育児支援が必要」と判断された親子に対し、医療機関と保健センターが連携を図りながら育児不安の軽減および児童虐待発生予防のために家庭訪問等による育児支援を行っています。					
札幌市要保護児童対策地域協議会	児童虐待予防・防止に関して活動している関係機関を集め、情報の共有化、事例検討等を行い、連携の強化を図っています。(児童福祉総合センター)					
区要保護児童対策地域協議会	各区健康・子ども課家庭児童相談室において、児童虐待予防・防止、早期発見および虐待事例への円滑な支援を行う地域ネットワークを構築するため、関係機関代表者による連絡調整会議、事例検討会、研修会等を行っています。					
オレンジリボン地域協力員養成事業	児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年育成委員等を対象に研修会を開催し、オレンジリボン地域協力員の養成を行っています。(児童福祉総合センター)					
夜間急病センター事業	夜間の急病患者の応急処置を行います。また、小児科においては患者の集中する土・日・祝日の準夜帯(午後7時～午前0時)に医師を増員するなど診療面を強化しています。 《夜間急病センター》住所：札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 1階					
休日救急当番運営事業・二次救急医療機関運営事業	小児救急医療について、平成16年度から初期救急医療体制の休日における当番施設数を増やすとともに、二次救急医療体制を土曜日及び休日のみの体制から年間全日に移行し、充実・強化を図っています。					
幼児教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を来所および電話で行っています。(市幼児教育センター)					
	相談件数	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	来所相談	—	717件	1,258件	1,229件	1,374件
	電話相談	—	824件	1,683件	1,749件	1,749件
教育相談	不登校や特別支援教育に関わる教育相談を来所および電話で行っています。(市教育センター)					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	来所相談件数	3,687件	3,154件	3,401件	4,115件	4,830件
	指導施設数	1,026件	1,543件	1,388件	1,622件	1,564件
★ 教育支援センター設置事業	学校に通うことが難しい子どもに対応するため、学校以外の場における子ども支援のあり方を調査研究し、子どもが抱えている不安や悩み等を和らげる居場所を設置します。(平成23年度から平成26年度に実施。平成25、26年度に1か所ずつ、計2か所に設置予定)					
★ ポロップひろば(未就学児の子育て広場)	各区市立幼稚園にて、就学前の子ども(主に2～6歳児)と保護者を対象にした子育て広場。月1～2回(開催日、開催時間は各幼稚園ごとに違う)園庭や園舎で親子で遊ぶことができ、その中で子どもとのかかわり方や就園、就学に向けた教育相談も行っています。(平成24年度開始)					

(2) 栄養・食生活

事業名	概要と実績					
食育推進会議の開催	「札幌市食育推進会議」では、食育推進計画の策定、その進捗に関すること等を審議しています。委員は、学識経験者、食に関係する団体の代表者、市民委員で構成されています。					
食生活指針の推進	「健康」分野に加えて、「地産地消」や「環境に配慮する食生活」などの「食育」の観点を取り入れた「札幌市食生活指針」及び、指針の具体的な取組を示した「札幌市食生活指針ガイド」を作成し、食育の普及啓発事業に取り組んでいます。					
栄養推進連絡会議	「健康さっぽろ21」の「栄養・食生活」領域の推進のために、庁内の栄養関係者の連絡会議を開催し、野菜摂取強化事業や食生活改善普及運動などを関係局と連携を図りながら実施しています。					
野菜摂取強化事業	市民に野菜摂取の喚起を図ることを目的として、8月を野菜摂取強化月間、『毎月、「1日」は、野菜の日』と定め、市内の給食施設やボランティア団体、野菜販売店等・大型スーパー等と連携し、普及啓発等に取り組んでいます。					
特定給食施設指導	特定かつ多数の人に対して1回50食以上、または1日100食以上継続して給食を提供している特定給食施設の給食の適・否が給食を受ける人の健康状態に大きく影響を及ぼすことから、市内の病院、事業所、幼稚園等の約600施設の給食施設管理者等に対して栄養管理指導を行うとともに、「健康さっぽろ21」に係る啓発事業を行っています。（保健所）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	指導回数	625回	595回	601回	636回	632回
指導施設数	928カ所	892カ所	998カ所	943カ所	657カ所	
食生活改善地区組織活動	食生活改善推進員が中心となって、健康づくりに役立つ食生活改善について、調理実習等を含む講習会や食生活改善展を実施するほか、地区巡回活動による食生活面の相談・助言等を行っています。（保健所・各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	食生活改善展	16回	16回	20回	21回	23回
		9,651人	8,129人	8,348人	7,207人	5,780人
栄養講習会	642回	673回	585回	519回	512回	
	32,858人	25,035人	31,088人	25,184人	20,541人	
食生活改善推進員養成事業	食生活改善の地域改善活動推進の担い手である食生活改善推進員を養成するため、所定のカリキュラムに基づく養成講座を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	推進員数	2,086人	1,984人	1,897人	1,705人	1,606人
修了者数	158人	193人	152人	122人	156人	
栄養相談と栄養講習会	個々人に応じた適正な食生活を支援するための個別の栄養相談と、離乳食などの子どもの食生活に関する講習会や糖尿病などを予防するために食生活について学ぶ栄養講習会を実施しています。（各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	個別栄養相談	69,837人	71,013人	68,287人	69,059人	42,167人
		1,385回	1,242回	1,362回	1,192回	1,156回
栄養講習会	42,131人	42,498人	33,639人	39,833人	39,319人	
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等を講師として保健教室を開催しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	一般健康教育（栄養・食生活）	396回	443回	466回	437回	366回
	8,195人	8,610人	7,819人	8,682人	8,110人	

事業名	概要と実績					
外食・加工食品の栄養成分表示普及事業	市民自らが健康づくりを行うために外食や加工食品の栄養成分表示により、適正な情報提供を行うことが必要となっています。表示を普及させるために関係業者に対し、表示の普及啓発と方法等の指導を行っています。また、市民に対しては、表示された栄養成分が理解できるように啓発事業を行っています。（保健所、各区保健センター）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	栄養成分表示の店登録数	1,217店	1,393店	1,532店	1,544店	1,563店
	加工食品等指導・相談件数	104件	83件	92件	71件	50件
	市民啓発人数	8,104人	8,455人	6,385人	7,691人	6,295人
にこにこテーブル事業	妊娠中の方や、0～4歳児のお子さんを持つ保護者を対象とした献立のアイデアなどをホームページ「健康さっぽろ21」で募集・掲載しています。					
親子料理教室	幼稚園児・小・中学生とその保護者を対象として、親子が健康づくりのための食生活を学ぶ料理教室を、各区保健センターや学校等で行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	27回	26回	27回	32回	31回
	市民参加数	832人	1,032人	945人	972人	1,028人
マタニティクッキング教室	初妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の食生活の重要性を普及啓発するとともに、生活習慣病を予防する食生活について学ぶ料理教室を各区保健センターで実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	62回	61回	58回	62回	66回
	市民参加数	753人	730人	618人	689人	765人
健康料理フェスティバル	健康的でバランスの良い食生活を進めるために、札幌市調理師団体連合会との共催により、市内のホテルを会場として、年1回、健康料理フェスティバルを開催しています。（市民参加数、1回200人）					
男性の料理教室	健康に関する食生活を学びながら調理の実践を促し、地域の自主活動グループ等へ参画していくこと等を目的として、「男性の料理教室」の開催や、男性料理グループの活動支援等を行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	24回	23回	24回	32回	110回
	市民参加数	372人	286人	349人	573人	1,922人
エコクッキングの推進	健康と環境に配慮した食生活を進めるために、「エコクッキング」の普及啓発を行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	174回	167回	220回	173回	220回
	市民参加数	3,791人	4,959人	5,938人	6,811人	6,323人
ここから健康づくり応援団（札幌市栄養成分表示の店）	「ここから健康づくり応援団」では、エネルギーなどの栄養成分表示を継続して3メニュー以上実施している外食料理店等にステッカーを配布し、ホームページ「健康さっぽろ21」に店舗名を掲載しています。					
★高齢者の食生活指針の推進	介護予防の観点から、65歳以上の方を対象とした「高齢者のための食生活指針」を作成し、食育の啓発に取り組んでいます。					
★学校と保健センターの食育協働事業	平成22年度から、学校等を会場に、保健センターと開催校の学校栄養教諭等の協働で、児童の保護者に対してパネル等を活用し、生活習慣病予防のための食生活等についての情報提供を行っています。					

(3) 身体活動・冬季の健康づくり

事業名	概要と実績					
健康づくりセンター	医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康診断や体力測定などの結果を基に、生活・運動・栄養指導などを通じて、個人に合った健康づくりの実践プログラムを提供しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	中央健康づくりセンター	74,013人	72,006人	70,764人	74,132人	82,840人
	東健康づくりセンター	30,025人	32,511人	36,090人	38,790人	42,926人
西健康づくりセンター	99,805人	104,322人	114,489人	120,242人	82,840人	
ヘルシーコミュニティ促進事業	健康づくりを行う自主活動グループの運営や活動に対して助成金を交付し、また、活動を始めようとするグループには、相談などによる支援をしながら地域住民の自主的で継続的な健康づくり活動を推進しています。助成金の交付は平成22年度で終了しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	助成金交付	107グループ	109グループ	98グループ	66グループ	—
	育成支援	14グループ	13グループ	41グループ	44グループ	13グループ
健康づくりリーダー養成研修	地域において健康づくり活動の中心的役割を担い、地域に合った活動を展開していくため、各区保健センターで研修により地域での健康づくりを推進するリーダーの養成を行いました。(平成22年度で事業終了)					
★ウォーキング実践指導ボランティア研修	健康づくりに取り組む市民を対象に、交流会及びウォーキング指導者としての知識や技術を学習する「ウォーキング実践指導ボランティア研修」を実施し活動を支援しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	受講者数	43人	63人	68人	48人	41人
★市民交流ウォーキング大会	平成20年度からウォーキング実践指導ボランティア研修受講者が中心となり全区のボランティアが協力して「市民交流ウォーキング大会」を年1回、開催しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	参加人数	—	268人	350人	364人	271人
健康づくりネットワーク促進事業	地域の健康づくり自主活動グループなどで構成される各区の健康づくり組織の活動活性化やネットワーク化を支援するために、各区保健センターでの研修等を開催しています。					
転倒予防教室	高齢者の転倒を予防するため、介護予防センターで転倒を予防するための体操などの介護予防教室を開催しています。					
さっぽろウィンターキャンペーン	雪道転倒防止と札幌らしい冬の暮らし方を市民とともに考え、作り上げていくために、札幌市のほか、開発局やNPO法人、民間企業などで推進協議会を設置して、ホームページを作成し、イベントや教室などのさまざまなキャンペーン活動を行っています。					
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	一般健康教育(運動)	146回	140回	158回	139回	102回
		5,803人	5,211人	6,429人	5,433人	3,355人

(4) 休養・こころの健康づくり

事業名	概要と実績					
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、健康増進等に関して知識経験を有する医師・保健師等を講師として健康教室を開催しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	一般健康教育(休養)	8回	6回	6回	6回	5回
		194人	233人	402人	278人	241人

事業名	概要と実績
札幌こころのセンター (札幌市精神保健福祉センター)	精神保健に関して、心の病の予防から精神障がいのある方の社会参加まで、幅広い活動支援を行っており、心の悩みや病について相談を受けている関係者に対し、研修の実施や情報提供をしています。また、思春期、ひきこもり、薬物依存症などの特定相談を受けています。
心の健康相談・電話相談	精神疾患や心の悩み、対人関係などでお困りの方や家族に対して、療養方法や日常生活の相談を行っています。(札幌こころのセンター)
精神科救急情報センター	夜間や休日に緊急の精神科医療を必要とする方からの電話相談を受け付け、病院との連携などのトリアージを行います。
すこやか倶楽部	高齢者を対象に、転倒予防や体力増進のための体操、各種レクリエーション、交流会などを地域やボランティアの協力のもと実施しています。

(5) たばこ

事業名	概要と実績												
受動喫煙防止対策ガイドラインの普及	市民、事業者、行政が一体となって受動喫煙防止対策に取り組むため、「受動喫煙防止対策ガイドライン」を作成し、普及啓発を行っています。(保健所)												
ここから健康づくり応援団(禁煙・完全分煙施設)	「ここから健康づくり応援団」では、札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインに沿って、禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配付するとともに、ホームページ「健康さっぽろ21」上に店舗名等を掲載しています。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>禁煙・完全分煙施設</td> <td>243カ所</td> <td>341カ所</td> <td>358カ所</td> <td>451カ所</td> <td>465カ所</td> </tr> </tbody> </table>		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	禁煙・完全分煙施設	243カ所	341カ所	358カ所	451カ所	465カ所
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度								
禁煙・完全分煙施設	243カ所	341カ所	358カ所	451カ所	465カ所								
札幌市未成年者喫煙防止イベント「NO!NO!スモーキング」	未成年者が楽しみながらたばこの害について学べるように、未成年者喫煙防止イベント「NO!NO!スモーキング」を平成17年度から開催し、たばこの害や条例などに関するポスターの展示のほか、たばこに関するクイズなどを行い、広く市民に喫煙防止についての普及啓発を行っています。平成22年度からは受動喫煙防止キャンペーン「さっぽろMU煙デー」を開始し未成年者に限らず市民全体に普及啓発活動を行っています。												
★さっぽろMU煙デー推進事業	平成22年10月から毎月3日を「さっぽろMU煙デー」とし、喫煙者、非喫煙者を含む全ての市民を対象とする受動喫煙防止キャンペーンを実施しています。												
未成年者喫煙防止対策推進協議会の開催	未成年者の喫煙防止に関する事項を協議し、市民、関係機関、関係団体が一体となって未成年者を喫煙の害から守ることを目的として、平成18年10月に未成年者喫煙防止対策推進協議会を設置しました。同協議会は、保健医療関係団体・市民団体・地域の代表、企業、行政などで構成されています。(事務局：健康衛生部)平成20年度をもって対象者を未成年者に絞った「協議会」を廃止し、「札幌市健康づくり推進協議会」においてたばこ領域の重点取り組みの一環として対策の充実を図っています。												
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般健康教育(たばこ)</td> <td>4回 127人</td> <td>1回 39人</td> <td>0回 0人</td> <td>3回 48人</td> <td>3回 56人</td> </tr> </tbody> </table>		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	一般健康教育(たばこ)	4回 127人	1回 39人	0回 0人	3回 48人	3回 56人
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度								
一般健康教育(たばこ)	4回 127人	1回 39人	0回 0人	3回 48人	3回 56人								
禁煙週間	世界禁煙デーに始まる禁煙週間に各保健センターでは、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及・啓発事業を実施しています。												

(6) アルコール

事業名	概要と実績
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。

事業名	概要と実績					
母親教室（再掲）	各区保健センターでは、初妊婦およびその配偶者を対象として、妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	462回	464回	449回	463回	461回
	参加延人数	10,321人	10,349人	8,388人	9,020人	8,611人

（7）歯の健康

事業名	概要と実績					
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士、歯科衛生士等を講師として保健教室を開催しています。 ※平成22年まで各区で実施していた歯周病予防教室を保健所所管とし、回数減にした。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	一般健康教育 （歯の健康）	26回 636人	25回 473人	27回 570人	26回 752人	※6回 122人
	集団健康教育 （歯周疾患健康教育）	11回 220人	12回 147人	10回 186人	10回 309人	10回 559人
歯科相談	各区保健センターでは、乳幼児・妊産婦等を対象として、歯の健康づくりの普及を目的とした歯科相談、検診、予防処置を実施しています。（予防処置は平成19年度で終了）					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	開催回数	232回	120回	120回	120回	120回
	参加人数	2,031人	865人	860人	806人	720人
	乳幼児	1,360人	70人	55人	16人	0人
	就学児	1人	人	人	人	人
	妊産婦	609人	786人	805人	790人	720人
40歳以上	8人	人	人	人	人	
その他	53人	9人	0人	0人	0人	
歯周疾患検診	40歳、50歳、60歳、70歳の人を対象に、札幌市指定の歯科医療機関で問診・口腔内診査による歯周疾患検診を行っています。					
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
	受診者数	710人	756人	628人	678人	859人
	受診率	0.8%	0.7%	0.6%	0.6%	0.8%
チャレンジむし歯ゼロセミナー	2歳頃までの幼児と保護者を対象に、歯みがき習慣の形成や良い食習慣についての集団指導を、各区保健センターで実施しています。 ※平成22年度までは1歳頃。平成23年度から対象年齢を2歳頃までとした。					
在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業の実施	市内に住む65歳以上の在宅寝たきりの方で、歯科医院に通院することが困難な方のお宅を歯科医師が訪問し、診査の結果、必要に応じて治療を行っています。（平成23年度末で事業廃止）					
★歯周病予防啓発事業	「健康さっぼろ21」の中間評価の結果を受けて、歯間清掃用具の重点啓発、歯周病予防教室「大人のための歯磨き教室」の開催、保健所HPでの情報提供、円山動物園を利用した啓発イベントなどを実施しました。（歯周病予防教室は平成23年度で終了）					
☆高齢者口腔ケア研修事業	医療、介護職員を対象とし、要支援・要介護高齢者の口腔状態の改善、機能の向上のための研修を行っています。 また、一般高齢者を対象とした口腔ケア講習会も実施しています。（平成24年度からの新規事業）					

(8) 糖尿病・循環器病・がん

事業名	概要と実績					
健康教育	<p>各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。</p> <p>※平成 17 年度まで「40 歳以上」。平成 18 年度から「40 歳から 64 歳」。(65 歳以上は介護保険事業の対象)</p>					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	集団健康教育	719 回	624 回	648 回	721 回	573 回
	参加人数	25,868 人	24,940 人	27,311 人	23,458 人	21,898 人
	一般健康教育	21,895 人	20,073 人	22,158 人	21,125 人	16,164 人
	歯周疾患健康教育	220 人	147 人	186 人	309 人	559 人
	骨粗しょう症(転倒予防)	287 人	228 人	176 人	0 人	23 人
病態別健康教育	3,213 人	4,258 人	4,337 人	1,739 人	4,770 人	
薬健康教育	253 人	234 人	454 人	285 人	382 人	
健康相談	<p>平成 19 年度までは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、各区保健センターなどにおいて医師、保健師、栄養士等による健康に関する指導及び助言を行っていました。平成 20 年度からは個別の事業としては実施しておらず、通常の相談業務及び健康教育の一環として健康相談を行っております。</p>					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	総合健康相談	287 回	—	—	—	—
		16,307 人	—	—	—	—
	重点健康相談	163 回	—	—	—	—
		886 人	—	—	—	—
	高血圧	133 人	—	—	—	—
	高脂血症	315 人	—	—	—	—
	糖尿病	59 人	—	—	—	—
	歯周疾患	53 人	—	—	—	—
骨粗しょう症	0 人	—	—	—	—	
病態別	326 人	—	—	—	—	
★ 札幌市国民健康保険特定 健康診査	<p>札幌市国民健康保険に加入している 40 歳以上の人を対象とし、実施医療機関及び住民集団健康診査会場において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行っています。</p>					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	—	44,970 人	47,355 人	51,769 人	52,570 人
受診率	—	16.0%	16.8%	18.2%	19.7%	
★ 札幌市国民健康保険特定 保健指導	<p>特定健康診査を受診した人のうち、生活習慣病発症の可能性が高いと判定された人を対象とし、保健師と管理栄養士などによる特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援しています。</p>					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	—	427 人	741 人	700 人	611 人
受診率	—	5.9%	10.3%	9.1%	7.6%	
胃がん検診	<p>職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診、胃部 X 線撮影による胃がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)</p>					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	50,941 人	45,045 人	45,922 人	46,525 人	44,494 人
受診率	10.2%	9.1%	9.2%	9.4%	7.9%	

事業名	概要と実績					
大腸がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診、免疫便潜血検査 2 日法による大腸がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	74,092 人	64,478 人	68,506 人	69,665 人	80,343 人
受診率	14.9%	13.0%	13.8%	14.0%	14.3%	
子宮がん検診	職域を除く 20 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、子宮頸部細胞診、内診、（医師の判断により子宮体部の細胞診）による子宮がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	71,950 人	68,311 人	89,134 人	91,537 人	86,739 人
受診率	30.5%	29.0%	37.8%	38.9%	35.8%	
乳がん検診	職域を除く 40 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、触診、マンモグラフィ検査による乳がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	34,110 人	33,011 人	52,914 人	51,811 人	49,397 人
受診率	20.0%	19.4%	31.1%	30.5%	26.4%	
肺がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診や胸部 X 線写真の読影（必要により喀痰細胞診）による肺がん検診を行っています。（結核予防会札幌複十字総合健診センター）					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受診者数	15,731 人	12,292 人	12,664 人	13,133 人	16,033 人
受診率	3.2%	2.5%	2.5%	2.6%	2.8%	
★ 緊急肝炎ウイルス検査	札幌市に在住している方でこれまでに肝炎ウイルス検診を受けたことのない方を対象に、委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。					
		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	受検者数	28,322 人	99,632 人	73,387 人	55,681 人	49,762 人

（9）健康危機管理

事業名	概要と実績
感染症予防対策	①感染症に関する正しい知識の普及：感染症を予防するとともに、感染症患者に対する差別や偏見をなくすため、各種パンフレットや広報さっぽろなどのほか、マスコミ報道等を通して市民に感染症に関する正しい知識の普及に努めています。 ②結核・感染症発生動向調査：結核及び感染症の患者発生数等を収集・分析の上、教育委員会、市医師会等に還元するなど、感染症流行予測と予防啓発に役立てています。また、主要感染症について札幌市分のデータに独自の分析・コメントを加え、市衛生研究所ホームページ上で公開しています。
感染拡大防止対策	患者が発生したとき、必要に応じて保健所が感染症指定医療機関への入院勧告や特定職種への就業を制限するなどの措置を行っています。また、患者及び接触者の健康診断を行うほか、疫学調査を実施し、原因究明と感染拡大防止を図っています。
感染症健康危機管理	感染症に関する健康危機発生時に市民の生命を守り、感染の拡大を防止するため、平成9年度に情報の収集、分析、対応策の決定などについての具体的な指針として「札幌市感染症健康危機管理実施要領」を策定し、危機のレベルに応じた対策を講じています。
性感染症予防事業	思春期ヘルスケア事業や大学・専門学校・PTA 等を対象とした健康教育、医療機関との連携により、性感染症予防および治療に関する正しい知識の普及啓発を行っています。

事業名	概要と実績
エイズ予防	<p>①ポスター、パンフレット、リーフレットの作成や配付等による正しい知識の普及啓発を行っています。</p> <p>②保健所・保健センターでの相談窓口体制に加え、エイズコール（保健センターエイズ相談専用電話）を実施しています。</p> <p>③世界エイズデー（12月1日）関連事業として、NGO等を構成員とする実行委員会に企画・実施を委託し、各種エイズ予防啓発事業を開催しています。</p> <p>④各区保健福祉部医師、看護師のカウンセリング研修等への参加を行っています。</p>
HIV 抗体検査	保健センターで毎月2回、匿名・無料のHIV抗体検査を実施しています。また、夜間HIV検査を毎月1回、休日HIV検査を年2回実施しています。
BCG 接種事業	小児結核の予防のため、予防接種法に基づき、生後6か月に達するまでにBCG接種を行うこととされていますが、本市では4か月児健康診査時に併せて行っています。
結核の接触者健康診断	結核のまん延を防止するため、患者家族及び家族以外の接触者等を対象として実施しています。
結核患者管理と家族健診	結核患者及びその家族に対して通知を出し定期的に検査を行っています。また、保健所の保健師が訪問し、受診勧奨及び生活上・治療上の指導を行っています。
予防接種事業	<p>感染症予防のため、予防接種法に基づいて、定期予防接種を実施しています。</p> <p>予防接種の種類：ポリオ、四種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ）、三種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風）、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG</p>
高齢者インフルエンザ予防接種事業	65歳以上の高齢者、または60～64歳の方で、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいを持つ方（障害等級1級またはそれに準じる方）を対象に、市内の委託医療機関でインフルエンザの予防接種を実施しています。
健康・快適居住環境推進事業	室内空気環境をはじめとする、給水、排水などの居住環境全般にわたる37項目からなる「札幌市健康快適居住環境の指針」を策定しています（平成13年4月）。市民向けリーフレットも作成し、市民の居住環境の改善に役立てています。（保健所）
札幌市公共建築物シックハウス対策	札幌市の公共建築物の管理に携わる職員等に対し、「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」の遵守を徹底するとともに、同指針に関する説明会を毎年実施しております。
市民相談事業	保健所では、家庭、地域等における食の安全や良好な生活環境を確保するため、種々の市民相談を実施しています。
食の安全確保対策	<p>①食の安全を確保するため、年度ごとに市民等の意見を取り入れた「札幌市食品衛生監視指導計画」を策定し、効率的かつ重点的な立入検査や衛生講習会等を行っています。</p> <p>②食品衛生パネル展や食中毒予防に関するパンフレット等により市民に対し正しい食品衛生知識の普及啓発を行っています。</p> <p>③食の安全・安心市民交流事業の開催等により、市民や食品事業者と食の安全確保に関する情報や意見の交換を行っています。</p>

市政等資料番号	01-E06-12-1537
広報印刷登録番号	24-1-74
保存期間	5年



さっぽろ市
01-E06-12-1357
24-1-74

平成 25 年 3 月
札幌市保健福祉局保健所健康企画課

健康さっぽろ21【札幌市健康づくり基本計画】

平成 15～25 年度(2003～2013)

最終評価報告書

